



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月8日

上場取引所 名

上場会社名 中部証券金融株式会社
 コード番号 8513 URL <http://www.chusyokin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 湯本 崇雄
 (氏名) 村瀬 洋

TEL 052-251-1301

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	214	1.9	18	89.5	28	△17.9	17	△11.4
25年3月期第1四半期	210	0.8	10	△7.0	34	△14.1	19	△1.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.38	—
25年3月期第1四半期	4.94	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	57,504	3,672	6.4
25年3月期	53,381	4,177	7.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,672百万円 25年3月期 4,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	9.00	9.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	470	△2.3	70	△17.1	100	△7.0	70	△3.2	17.63
通期	910	△1.9	130	△1.4	200	△10.6	130	△8.3	32.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	4,000,000 株	25年3月期	4,000,000 株
26年3月期1Q	29,356 株	25年3月期	28,761 株
26年3月期1Q	3,971,174 株	25年3月期1Q	3,973,238 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成25年4月1日から同年6月30日までの3ヶ月間)のわが国経済は、企業マインドの改善が明確となる中、設備投資の下げ止まりや、底堅い個人消費など、持ち直しの動きが見られました。また、景気の先行きにつきましては、日本銀行による積極的な金融緩和の実施や、各種経済対策効果に対する期待から、緩やかな回復経路に復していくとみられています。ただし、海外景気の下振れが景気下押し要因として懸念されます。

株式市況についてみますと、12,135円で始まった日経平均株価は、5月22日には年初来高値の15,627円をつけました。その後は、米国における量的金融緩和の縮小観測から調整の動きとなり、6月13日には12,445円をつけました。最終的には、13,677円まで回復し、取引を終了しました。この間、当第1四半期末の3市場信用取引残高は2兆7,757億円と、前事業年度末(2兆4,179億円)に比べ14.8%の増加となりました。

こうした環境の下、当社の資金運用状況をみますと、まず、貸付金は貸借取引貸付金が増加した一方で金融商品取引業者向け及び顧客向け一般貸付金が減少したため、運用平残は前年同四半期と同水準の47億円となりました。

貸付金以外の運用面をみますと、有価証券投資の期中運用平均残高は411億円と、前年同四半期(390億円)比21億円の増加となりました。また現金担保付きレポ取引による借入有価証券代り金の期中平均残高は51億円と、前年同四半期(52億円)比1億円の減少となっております。

こうした運用状況の下、当期の営業収益は2億14百万円と有価証券利息配当金の増収を中心として前年同四半期(2億10百万円)比3百万円の増収となりました。営業費用は支払利息が減少し65百万円と、前年同四半期(69百万円)より4百万円減少しました。また、一般管理費は前年同四半期(1億30百万円)とほぼ変わらずの1億29百万円となりました。

この結果、当第1四半期の営業利益は18百万円と、前年同四半期(10百万円)比8百万円の増加となりました。また、これに営業外損益を加減算した経常利益は28百万円と、前年同四半期(34百万円)比6百万円の減益となりました。最終的に税金費用を減算した四半期純利益は17百万円と、前年同四半期(19百万円)比2百万円の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、未収入金の増加を主な要因として575億4百万円と、前事業年度末に比べ41億22百万円の増加となりました。負債は未払金の増加を主な要因として538億32百万円と、前事業年度末に比べ46億28百万円の増加となりました。また、純資産はその他有価証券評価差額金が減少したことにより36億72百万円と、前事業年度末に比べ5億5百万円の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済は、今後政府の経済対策の実施による景気の回復が期待される一方で、海外景気の下振れなどのリスク要因を抱えているため、株式市場は底堅く推移することを期待しつつもその動向には注意が必要です。

こうした想定の下、当社といたしましては、中部地区における証券金融の専門機関として、証券界及び投資家の多様化するニーズ等に適切かつ機動的に対応し、貸付金残高の確保等に努めてまいります。平成26年3月期の業績予想につきましては、前回(平成25年4月30日)公表の予想値から変更しておりません。

また、業績予想につきましては、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は公表予想値とは異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	720,556	1,585,442
貸借取引貸付金	826,188	861,305
一般貸付金	3,828,303	3,699,826
貸借取引貸付有価証券	10,352	2,901
借入有価証券代り金	5,142,586	5,097,920
未収入金	3,479,515	8,849,221
その他	180,352	116,245
流動資産合計	14,187,855	20,212,864
固定資産		
有形固定資産	47,661	46,613
無形固定資産	67,686	49,881
投資その他の資産		
投資有価証券	38,698,433	36,304,635
その他	399,476	890,308
貸倒引当金	△19,610	—
投資その他の資産合計	39,078,299	37,194,944
固定資産合計	39,193,648	37,291,439
資産合計	53,381,504	57,504,303
負債の部		
流動負債		
コールマネー	7,500,000	10,000,000
短期借入金	37,100,000	34,800,000
1年内返済予定の長期借入金	2,000,000	2,000,000
未払金	1,676,428	6,414,324
未払法人税等	21,839	2,389
貸付有価証券代り金	10,352	2,901
担保金	130,000	140,000
預り金	7,300	10,038
預り有価証券	10,352	2,901
賞与引当金	19,593	8,864
役員賞与引当金	7,200	1,475
その他	86,564	74,932
流動負債合計	48,569,633	53,457,826
固定負債		
繰延税金負債	472,754	208,225
退職給付引当金	119,646	124,277
役員退職慰労引当金	41,944	41,944
固定負債合計	634,344	374,446
負債合計	49,203,977	53,832,273

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
利益剰余金		
利益準備金	50,000	50,000
その他利益剰余金		
配当準備積立金	191,000	191,000
圧縮記帳積立金	18,587	18,519
別途積立金	1,530,000	1,530,000
繰越利益剰余金	1,225,614	1,207,351
利益剰余金合計	3,015,201	2,996,871
自己株式	△6,558	△6,721
株主資本合計	3,208,643	3,190,149
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	968,882	481,880
評価・換算差額等合計	968,882	481,880
純資産合計	4,177,526	3,672,030
負債純資産合計	53,381,504	57,504,303

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益		
貸付金利息	33,390	30,814
借入有価証券代り金利息	1,151	829
受取手数料	1,527	2,150
有価証券貸付料	310	106
有価証券利息配当金	174,073	180,522
営業収益合計	210,454	214,423
営業費用		
支払利息	48,130	44,243
支払手数料	21,343	21,211
有価証券借入料	413	218
営業費用合計	69,887	65,673
営業総利益	140,566	148,749
一般管理費	130,562	129,797
営業利益	10,004	18,952
営業外収益		
投資有価証券売却益	496,016	590,175
デリバティブ取引運用益	—	541,721
その他	828	550
営業外収益合計	496,844	1,132,447
営業外費用		
投資有価証券売却損	230,862	1,121,155
デリバティブ取引運用損	229,898	—
その他	11,524	1,876
営業外費用合計	472,285	1,123,032
経常利益	34,562	28,367
特別損失		
固定資産処分損	—	5
特別損失合計	—	5
税引前四半期純利益	34,562	28,362
法人税、住民税及び事業税	6,135	2,012
法人税等調整額	8,780	8,938
法人税等合計	14,915	10,951
四半期純利益	19,646	17,410

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、有価証券を担保とした貸付業務及び有価証券運用業務並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。